

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成 30 年 11 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 通信教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>
受付時間 9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日
定 価 1 部 150 円 1 カ年 1,600 円(税込・送料込)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

新しい自分への挑戦

細川 敬貴

東京大学医学部附属病院
経営戦略課 経営企画担当 係長

私が大学を卒業した約 20 年前は就職氷河期と言われ、後に失われた 10 年などと表現される時代でした。当時は漠然とした将来への不安を抱いていた記憶があります。その数年後、自身が病院で働いていることなど想像できませんでした。縁があり、診療情報管理士の認定を受け現在に至っていますが、改めて自身を振り返ると、目の前の業務や資格認定等の目標を達成するために懸命だった記憶が蘇ります。

診療情報管理士を目指す受講生の皆さんも、日々の業務に追われながら認定試験に向けた準備を進めておられるかと思いますが、認定試験に合格することは目標であっても目的ではありません。認定試験の合格は診療情報管理士としてのスタートラインに立つことに過ぎず、多様化する診療情報管理業務に対応するためには認定後も日々研鑽に務める必要があります。その一方、診療情報管理士の認定者が増え、施設内の人員定数や人事異動がある中、希望者全員が診療情報管理部門に勤務できるわけではありません。例え診療情報管理部門の所属ではないとしても、診療情報管理士認定のために勉強した知識や実務者として得た経験は活用されるべきであり、それが診療情報管理士の存在意義を高め、業界全体の活性化に繋がるのだと思っています。

時代は目まぐるしく変化しています。診療情報管理業務も普遍的な部分を残しつつ、既成概念にとらわれない時代に即したあり方を追求しなければ、いずれ淘汰の道を進ることになりかねません。例えば、電子カルテが普及し、入院中の記録を如何にリアルタイムに近い時期に評価できるか、如何に安全で質の高い医療に貢献できるかが求められています。また、DPC やがん登録ではより高度な医学的知識が必要とされています。

新しいことを始めるときは誰もが初心者であり、不安を抱えています。全てが理想通りにはいかないかもしれませんし、時には失敗もします。才能に努力を積み重ねた天才打者であっても生涯 3 割 3 分ほどしかヒットを打てないのです。例え失敗をしたとしても、その後どう行動するかの方が大切であり、そこには貪欲さや自己の内省が必要なのだと思います。

皆さんの診療情報管理士としての新しい一歩は、診療情報管理士が新しい一歩を踏み出すことに繋がります。診療情報管理士を目指そうと思った挑戦する気持ちを忘れず、恐れず新しい自分への挑戦を続けてください。